

「安心して暮らせる持続可能なまちづくり」

デジタル技術を活用した健康づくり事業



【令和7年度寄附目標額】11,910千円

健康長寿のまちをめざします！

【キーワード】DX推進によるまちづくり

【事業概要】

町民の2人に1人が高齢者である神石高原町は、今後も高齢化や人口減少、医療・介護従事者側の高齢化・人手不足が進むことが予想されます。高齢化が進むことで、医療費・介護給付費などが増加し、町の財政が圧迫される事態につながりかねません。神石高原町が元気で、活気あふれる持続可能なまちとして存続し続けるためには、デジタル技術を活用して、健康なうちから住民の健康意識を啓発する取組により行動変容を促進するなど、“予防”を重視した医療体制づくりが重要と考えます。

本町が推進する「デジタル技術を活用した健康づくり事業」は、歩くことで健康ポイントを貯めることができ、貯めたポイントは電子マネーと交換ができる仕組みであり、楽しみながら健康づくりとフレイル予防に取り組みます。地域全体の健康意識を向上させ、一人ひとりの健康寿命を延ばす取組を推進することで、健康長寿のまちをめざします。



「健康マイレージ」アプリ



【事業実施による目標】

- 健康寿命(男性) 81.61歳以上 (令和11年度)
- 健康寿命(女性) 83.92歳以上 (令和11年度)



【寄附金の使途】

いただいたご寄附は、「健康長寿のまち」をめざして取り組む当該事業の運営に係る経費に充てさせていただきます。

【寄附検討企業の皆様へ】

高齢化・人口減少が急激に進む神石高原町では、住民一人ひとりの健康寿命の延伸がとても重要であると考えます。健康長寿のまちをめざして「デジタル技術を活用した健康づくり事業」を継続して実施したいと考えており、事業を持続的に運営するための財源を企業版ふるさと納税で応援していただきたいと考えています。